

## 「京都大学ジャパングートウェイ構想」における今後の方向性

本学は、総合大学として、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成するとともに、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかりながら、世界的に卓越した知の創造を行うことを教育研究の基本理念としている。

京都大学の国際化もまた、こうした基本理念に従い、より世界に開かれ、多様な価値観が共存する環境下で人材を育成し、より多様な人材が交流するなかで世界的に卓越した知の創造を促進することが、推進するうえでの基本的な理念となる。

このような国際化推進の理念を実現していくために、平成26年度から「京都大学ジャパングートウェイ構想」を掲げ、国際戦略本部の設置によるトップマネジメントによる国際戦略運営体制の確立、国際共同学位プログラムの展開、留学生の受入拡充や日本人学生の海外留学の促進のための諸方策の実施などに取り組んできた。また、国際化を推進する上での基盤整備ともいえる諸方策に具体的な目標をもって取り組んできた。

今回、これまでの取組みの状況全般について、外部評価の機会を設け、各委員から貴重なご意見等を多数いただいた。外部評価委員のこうしたご意見も踏まえ、引き続き「京都大学ジャパングートウェイ構想」を推し進めていく。

その際、国際化推進の理念を実現していくという視点に立って、特に、以下の事項に力点を置きながら、着実に国際化を推進していきたい。

- ①国際戦略本部を中心とした全学を上げての各種施策の企画実施ならびに全学構成員の共通理解と支援の増進に努める
- ②吉田カレッジ構想による学部段階での留学生の受入拡充とリクルート機能の確立、その留学生の一定数が順次大学院に進学していくことを促進していくことによる大学院の入学者選抜の質と学生の質の維持向上ないし、より優れた研究者の輩出、加えて本学の高度な専門教育を修めた留学生の社会への輩出と定着への寄与
- ③質の保証を伴った国際共同学位プログラムの拡充
- ④学生の語学力や国際性等を向上するための外国人教員100人の雇用と英語科目の質的拡充

なお、個々の諸方策に係る具体的な目標についての進展等の度合いは様々であるが、これについても国際化推進の理念に照らし、個々の状況等の分析と今後推し進めていくべき具体的方策を再確認し、本学の国際化を推進していきたい。